



発行人：KBI フレンズの会 会長 伊藤勝利（八尾福音教会曙チャペル）



「水をくむ喜び」

福野 正和（1972 年度卒業）

関西聖書学院 理事長

RCI 南大阪福音教会 主管牧師

「あなたはくむ物を持っておいでにならず、この井戸は深いのです。」と、かつてサマリヤの婦人がイエス様に言いました。「KBI ワーカーズシェア 2017」では、わたしたちは深い井戸からいのちの水を汲み、飲むことができました。主によって、いのちの水が汲める井戸とくむ物を与えられているからです。それは、「キリストによる救いの井戸」と、神の家族とされた「KBI ファミリーの交わり」です。キリストにある「信仰」と父なる神にある「恵みの交わり」が、いのちの水を汲み上げるポンプなのです。



インターアクトのアンベッケン師とリグネル師からの、土の器からの世界宣教という霊的原点に触れられるメッセージからスタートしました。豊田信行師が「霊性と牧会」という主題にそった、牧師の信仰と人格形成の取り扱いを、まな板に乗せられた生きた鯉が料理されていくプロセスのように、生々しく

生き生きとした現実の証しとして牧会者の視点と感性から語って下さいました。何よりも主の器の誠実さと忠実、献身力を目の当たりにさせられたワーカーズシェアでした。美味しく豪華な食事やスイーツバイキングもあり、「やっぱり、KBI やね！」と思わず口から飛び出す言葉を共有できました。



豊田師の語られたメッセージは、聞きなおして自分の信仰の歩みと霊性を再考させられる素晴らしい内容でした。ひとりひとりが、それぞれに必要な霊的糧の量といのちの水を飲むことが出来たのではと思います。神が選んで導いて下さった KBI で過ごした日々を再体感しながら、共に牧会の喜びと戦い、笑い涙を共有できるチャンスを準備して下さいました、「KBI フレンズの会」の世話役の先生方に心から感謝します。

本当に深い井戸でしたが、喜びを持って霊性と牧会の水を汲み上げることができました。ファミリーと一緒に集まることは、実に素晴らしいですね！

「あなたがたは喜びながら救いの泉から水を汲む。」イザヤ書 12 章 3～4 節

ワーカーズシェアに参加して・・・証し（1）

菅沼 威（1981年度卒業） 設楽キリスト教会 牧師



3年ぶりに行われるワーカーズシェア。「今度も参加しようか」と夫婦で話していた。講師は豊田信行先生ではないか。最近、息子が豊田先生のメッセージに陶醉していて、家内も豊田先生のメッセージを夢中で聞くようになっていた。これは意味があると思い夫婦での参加を決めた。

「われわれは、聖書から考えることと語ることとの確かな規範を取出し、それに自己の精神の一切の思いと、口の言葉とを合わせなければならない。」（カルヴァン・

キリスト教綱要より）。今回のワーカーズシェアは、司会・証し・メッセージ、全てがそのような迫力を感じる内容で、信仰のチャレンジを与えるものだった。

3年前、同じ宿泊棟で会長の伊藤勝利先生と交わった時、ご自身の霊的経験を通して KBI の霊の流れを、夢中になって語ってくださった。「なんでこの先生、こんなに燃えて膝を交えても語れるんだろう。」こんなに熱烈な思いで語られる姿に、何か不思議な力を感じた。

信仰のメッセージは、自身が造り出すというより、主の語りに自身が引き摺り込まれる。そうでなければ、込み上げる力にはならない。私自身について言えば、20代の頃、拡声器での伝道を始めて、「なんか不思議な力に引き摺り込まれる」ようなことを感じた。以来30年以上、車の中で生活しつつ旅をして伝道しているが、「それは他から弁護し、支持されることを要しない。それがそれを聞く人々やそれを伝える人々を弁護し、支持する。」（カール・バルト）まさにそのようだ。ダビデの良心は、水を飲むことを許さなかった。（I歴代誌 11:19）ましてやキリストの犠牲に対して楽な生活は相応しくない。だから辛いと思って家を出る時もあるのだが、出掛けるといつも喜びに引き摺り込まれるゆえに、30年以上も続けられていると信ずる。

今回の学院長先生のメッセージでも働きの多様性について触れられ、「あの時に不思議にも自由に語ることが出来ることを体験できた。」と語られた。

主がフレンズの会を造り出されたのは、「あらゆる節々が、補い合うことによってしっかり組み合わせられ」（Iエフェソ 4:16）不信仰を本質としている人間が継続して働きを続ける、そのためには働き人の交わりを素通りし



てはならないためなのだ。

「良い地に落ちた」（マルコ 4:8）とは、新約に至って個々人の内容だけに留まらず、「頑丈な結びの地」の意味も含まれる。KBIの卒業生相互の働きかけ、その中でも主の働きの見えざる御手があると信じる。キリストのからだに対する行動を続ければ、主の霊の注ぎかけを経験するに至れると信じる。「結果こそちから」（大嶋常治師）。不断に結末を素通りするなど、自身に語り続けよう。



ワーカーズシェアに参加して・・・証し（2）

松本 直展（1995年度卒業） JEC 佐用チャペル 牧師

主の御名を崇めます。今回ワーカーズシェアに参加する恵みに預かり、心から感謝します。

素晴らしい食事、心地よい部屋、久しぶりに顔を合わせる同労の先生方との交わりに心開かれ、リラックスした中で豊田信行先生のメッセージを聞くことが出来ました。

しばらく前、教会に来て下さるキリスト教書店さんのお勧めで、豊田先生の著書「父となる旅路」を購入しました。「うーん、なるほど。」と思わされる所が何か所もあり、その著者が今回のセミナーの講師であることを知って、個人的にいつもより大きな期待を抱いていました。今回のセミナーに参加して一番心に残ったこと、それは働き人にとって、何よりも神の前に安息することが大切ということでした。今までKBIやJECでも何度も聞いてきたフレーズですが、豊田先生の語るその内容は少し違った角度からのものでした。それを最も表しているのが、私たちの一日は「夕があり、朝があった」のサイクル、つまり眠りから始まるという点です。一日は日が昇る朝に始まるのではなく、眠りによって私たちの業が停止することから始まるということ。しかし一方で、それは同時に神の業の開始、前進であるということです。自分の業をやめたとしても、神が最高のお方で、すべての必要を満たしてくださるということに、信頼して生きていくことが鍵であり、大切な土台だと教えられました。また「神様、おはようございます。私の一日が始まりました。私の働きを助け、私を守って下さい。」と私たちの



生活に神を招くのではなく、「神様、私は自分の業をやめます。あなたの業が始まる一日に私自身の全てを委ねます。おやすみなさい」と一日をスタートさせる。目覚めた時「神様、おはようございます。あなたの一日に私を招いて下さり、感謝します。」と活動する。このような神様との生きた会話の中、与えられた日々を喜び、神から与えられる務めを忠実に果たして生きて行きたいと思われました。

ワーカーズシェアに参加して・・・証し（3）

石塚 未佳（2016年度修了）札幌キリスト福音館

私は KBI を修了してからの 1 年間、仕事をしながら次のステップについて祈っていました。そんな中で私がワーカーズシェアに期待していたのは、大好きな仲間に出てリフレッシュし、またこれからの方向性を確かにすることでした。勿論メッセージも楽しみでしたが、正直牧会者向けに語られる内容から、牧会者ではない私がなにを受け取れるのかわかりませんでした。



ワーカーズシェアが近づいたある日、急に私は地元

を離れ短期で知り合いもない地へ教会の手伝いをする事が決まりました。突然の決断でしたが何も分からぬまま、神様に押し出されるような思いで決断したのでした。その場所に行って何が待っていてどんな意味があるのかわかりませんでした。しかし結果や理由ではなく今神様に従うか従わないのかチャレンジされている気がしたのでした。ただ1つ願いはありました。それはその地で私が今まで受けてきた傷や苦しみの経験を通して人々が癒されていく働きがしたいということでした。

本当に私の決断は正しかったのだろうか？ 勢いで決めてしまったのではないかと。不安を抱えたまま、ワーカーズシェアは始まりました。しかし講義が行われていく度、この決断は確かに神様が導いてくださっているという確信と励ましを受けることができたのでした。全ての講義が励ましとなりましたが、中でも2つみことばが心に深く残りました。1つ目はイザヤ 53:5「彼の打



ち傷によって、私たちは癒された。」でした。傷を通して人々の癒しが成されることや、豊田先生の証しを通して、今まさに私の傷を通して神様がなにか働かれようとしていることを感じました。2つ目は創世記 12:1「わたしが示す地へ行きなさい。」でした。アブラハムはどの様な所に行くのかわからなかった。その状況はまさにわたしの状況でした。でも彼が求められたのはただその言葉に従うことでした。そしてその先に待っていたのは大きな祝福でした。私はこの2つのみことばを通して確信を頂きました。そして私のビジョンではなくただ神様に謙遜に従う人生でありたいと願わされたのでした。

「ワーカーズシェア 2018」DVD・CD 販売中！

心触れられ、多くの励ましとチャレンジを受けた豊田信行師の各セッションでのメッセージ(4回)のDVDとCD(全レジメ付)を4枚組 2,000円で販売しております。ご参加できなかった皆さんにも、ぜひお聴きいただければと思っております。ご購入の申込みは KBI 事務所までご連絡ください。

2017 年度総会 (10 月 11 日 @KBI) 開催

16 年度決算報告案、17 年度予算案、共に承認されました。同封資料ご参照下さい。

<お願い>

会の円滑な運営・活動のために、年会費納入・メールアドレス・住所変更時の連絡等にご協力下さい。

ゆうちょ銀行「自動払込利用申込」ご協力のお願い！

「自動払込利用申込」手続きをして下さった皆様、ご協力有難うございました。

11 月 1 日現在、181 名。【年会費 2,000 円 毎年 8 月 31 日自動引落し】

手続きがまだの方は、是非ともお手続きを、よろしくお願い致します。

総合口座への振込も受け付けます！

自動払込の難しい方へ：総合口座へは、随時振込が可能です。

ゆうちょ口座名：KBI フレンズの会 (ケービーアイフレンズノカイ)

口座番号：14520-24101331

フレンズの会への献金も、随時受け付けます。

上記の同じ口座への送金にて随時受付いたします。

KBI への支援献金

「支える会」や「奨学基金」など母校、後輩へのご支援もよろしくお願い致します。

ゆうちょ口座： 関西聖書学院 / 01140-6-67708

あなたのメールアドレスを登録して下さい！

登録先：kbifriendsnokai@gmail.com (会専用のメールアドレス)

このアドレス宛に、住所、氏名、教会名等を書いて、メールをお送り下さい。

「KBI フレンズの会」からのお知らせをお送りいたします。